

## 論文要旨

### 1. 研究テーマ

中国発光都市の光と影、その建築的写真による現代表現について

先端芸術表現科 博士後期課程

1322926 NIE ZEWEEN

主査教員:佐藤 時啓

### 2. 研究背景、動機

筆者は学部時代、中国西安市の郊外に広がる取り壊し工事現場と新たな高層ビルが建設されるまでの社会現象の撮影を始めた。建物が変容する過程で、急速な経済発展が現代中国の都市と大衆生活に劇的な変革をもたらしていることに気づいた。

人工照明技術の進歩に伴い、ビルの照明も伝統的なフィラメント電球照明からLED照明へと変遷している。特に新たな照明技術により、ライトアップされた建築物は、モニターのように文字や動画が映し出され、広告や文化の宣伝といったメディアの役割も果たしている。筆者はこの社会現象を「発光都市・建築」と定義している。



中国の発光建築群 青島市 2024年

中国では、数十棟の隣接する発光建築の統一制御技術により、数キロメートルにわたる巨大な光のショーを構成している。この壮観な新型の夜景は、中国の多くの大都市で見られるようになった。「面子文化」において、発光建築は「自分の良い面を外部に示す」イメージ戦略として、全国の地方政府によって推進され、発光都市は中国社会の経済的成功や技術的進展を外部に示すものである。

しかし、中国の前首相李克強は2020年5月28日の記者会見で、「中国では6億人の月収が千元（約1万5千円）前後だ」と発言し、中国メディアなどで話題となっている。この6億人が中国の貧困層を象徴しているとすれば、筆者は大都市の発光建築は、中国の裕福層を象徴していると考えられる。そして、パンデミック後の不動産危機や経済の下落により、繁栄を象徴する発光建築と現実社会の距離が広がっているように見える。

21世紀初頭の中国社会は、城中村や古い住宅の取り壊しが進行していた。しかし、近年では大規模な取り壊し工事を終え、新たに建設された摩天楼が都市のランドマークとなり、大規模な高層住宅群も続々と完成している。この都市化の過程において、発光建築は技術的に新しい社会現象をもたらしているが、本質的には中国の「面子文化」の影響下で摩天楼に対する熱狂と同様に、欲望と資本の膨張を象徴している。

芸術作品と現実社会の関係は、筆者が常に重視してきたテーマである。2016年から撮影作品で取り上げた取り壊しに続き、発光建築は廃墟から新たに生まれた社会現象として捉えている。この現象が象徴する繁栄のイメージと現実社会とのギャップが、筆者の調査と創作意欲を掻き立てた。現在、コロナ禍後の不動産や経済の景気変動も社会的な話題となっており、写真や映像が持つ記録機能を芸術表現の手法として用いることは、中国の発光建築を撮影する上で、強い時代感と必要性を有している。

### 3. 研究方法、目的

本研究は中国の発光都市現象をテーマに、社会現象の調査および写真と映像芸術作品の創作・研究を行った。研究方法としては、前期調査→実地撮影

→社会背景調査→市民インタビュー→他者の芸術作品の参考→筆者の創作経験→作品の編集・展示という段階を踏んでいる。

実地調査と撮影の段階では、一線都市から縣市レベルの小都市まで、中国の13都市を訪問し、都市の中心部と周辺地域の発光建築、ならびに発光建築の内部を観察・撮影した。また、十数名の一般市民にインタビューし、発光建築に対する意見を収集した。市民との対話を通じて、筆者は発光都市に対する批判以上に、複雑な社会状況や人々の考え方の違いを感じた。

筆者自身の創作および生活経験に基づき、写真は建築の「新築・使用」と「解体・廃棄」の2つの段階に分けて考えることができる。「解体・廃棄」の段階を捉えた映像作品（2016年に制作）と、現在の発光都市を代表する「新築・使用」の段階の作品である。この視点から、現代の発光建築を撮影することで、これからの未来に廃墟となる予見性を表現できると考える。

撮影の現段階において、筆者はデジタルカメラによる写真作品の撮影に加え、映像作品の制作にも取り組んでいる。筆者が撮影した発光建築に関する写真は、主に距離を保ちつつ、建物全体の姿を捉えたものであり、外部者の視点から眺める視覚的表現に重きを置いている。一方、映像作品の制作においては、発光建築の外観にとどまらず、観光客や市民に対して発光建築に関する見解を問うインタビューを実施してきた。

写真作品では、「公」の視点から発光都市という社会現象の外面的な姿を捉えることに主眼を置いているが、映像作品では、映像や音声、人物インタビューといった「私」の視点を通じて、この社会現象が人々の心理に及ぼす内面的な影響を表現している。

したがって、筆者は自身の創作から、本研究に焦点を当て、建築を対象とした写真や映像と自己表現を切り口に、都市の発展に伴う建築の変遷や現代的な人工照明と写真表現の関連性、芸術表現と社会現状の関係性について研究を進めていく。